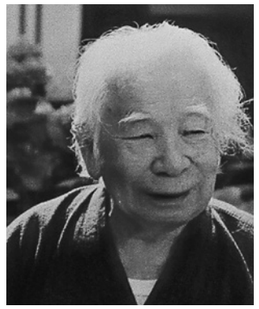
広報 高山の文化

No.266 2026.4.1 Culture in Takayama

一般社団法人 高山市文化協会発行

高山市昭和町1-188-1 高山市民文化会館内 Tel.0577-34-6550 Fax.0577-34-6877
メール●mail@takayama-bunka.org ホームページ●https://takayama-bunka.org
文化情報番組「すばらしき文化の和」 HitsFM（76.5MHz）金曜午後1時30分より放送中

/ 飛騨の文豪シリーズ /



和仁市太郎（わに・いちたろう）
明治43年～没年不明

詩人、神岡町船津生まれ

東京で謄写印刷を学び、美踏社工房を創業。『山脈詩派』『飛騨作家』『詩誌・すみなわ』創刊同人。県芸術文化奨励賞、市文化協会顕彰、市表彰他。

温故知新 ―高山の文化を正しく深く知り発信していく―

一般社団法人 高山市文化協会
会長 河渡正暁

高山市は、令和七年三月に『市文化財保存地域計画』を策定し、七月十八日に文化庁に認定されました。今回はその取り組みについて、概要の紹介とその考察をします。

本計画は、『市第九次総合計画』（令七～十六）の指針に基づき策定され、基本理念は「人を育み未来につなぐ」であり、美しい自然や景観、伝統文化などを守り、育て、次世代に繋げていくものです。

また、教育委員会策定の『市教育大綱』（平二十九）や『市教育振興基本計画』（令七～十六）にも、歴史遺産と伝統文化の活用、その為の人づくりの推進という目標が記載されています。

つまり高山の歴史文化の発展には、「歴史遺産・伝統文化の保存と継承」及び「文化財の新たな活用による郷土愛の育成」が求められています。

グローバル化が進むほどローカルな文化が均一化され、希薄になる傾向があります。そして、地域の持つ独自の文化を発信する力が弱まります。グローバル化が進む時代だからこそ、ローカルなものを再認識、再発見していく必要があります。

市内には歴史遺産や伝統文化を研究する、「国府史学会」や「飛騨歴史民俗学会」、「飛騨考古学会」などがあり、各専門分野で再認識・再発見に努力されており、私もその一員です。

特に「国府史学会」では、「こくふ歴史まちネット」と連携して、岡村利平氏が編纂した史料のデジタル化作業を行うと共に、明治初期に多数の村々が合併して国府村となった経緯などを調査しています。

また「飛騨歴史民俗学会」では、荏名文庫文書（田中大秀）、富田家文書（商家大坂屋）などの研究が、計画的・継続的に行われています。

そして「飛騨考古学会」では、設立五十年を振り返り、石器・旧石器の研究結果を市内各校での移動博物館において紹介し、市民を対象に御母衣ダム湖底遺跡群に関する調査報告会を開催しています。

このような歴史文化の課題・研究・解決のためには、高山市の「まちの博物館」のような郷土史博物館との連携が必要です。まち博には、国・県・市の文化財があり、飛騨全体の歴史資料が収蔵されています。これらを活用することが、今後の歴史文化の発展には欠かせないと考えます。

今後も高山市文化協会は、温故知新の気概をもって、高山の文化を正しく深く知り発信していくことを目指していきたいと考えています。

高山市文化協会 会員募集

高山市文化協会では、新規会員を募集しています。会員は個人・団体・賛助と別れており各種特典があります。ぜひこの機会にご入会ください。
入会をご希望される場合は、お電話などでご連絡ください。

会　費

個人4,000円、団体7,000円、
賛助12,000円（一口）

特　典

❶ チケット購入の特典（割引、早期購入など）（個人2枚、団体4枚、賛助5枚）
❷ 会報、チラシの送付
❸ 会員旅行への参加
❹ 高山文化芸能祭への参加（団体）
❺ 広報「高山の文化」、Hit's FMなどでの団体紹介

（一社）高山市文化協会加盟団体 文化協会後援 催事案内

エムドゥバレエスタジオ発表会
◇日時 四月五日（日）午後四時～
◇会場 文化会館 大ホール
◇入場無料

一滴会 書展
◇日時 四月二十四日（金）～二十六日（日）午前九時～午後五時（最終日午後四時）
◇会場 文化会館 三階講堂
◇入場無料

特別展「刀剣とやまと心」
◇日時 開催中～十二月二十七日（日）午前十時～午後五時※休館日はホームページにて確認
◇会場 光ミュージアム
◇料金 入館料が必要

「あ、野麦峠」上映記念開催 沖野清「野麦峠を越えた女工たち」展
◇日時 四月十一日（土）午後一時～午後五時、十二日（日）午前九時～午後六時
◇会場 文化会館 二階展示室
◇入場無料
※映画「あ、野麦峠」の前売りチケットは完売しました。

市民文化芸術鑑賞事業

●主催 高山市・（一社）高山市文化協会 ●お問合せ （一社）高山市文化協会（tel.0577-34-6550）

ワンコインシネマ

ワンコイン500円で映画を楽しめます！

幕末の江戸からホンモノの侍が時代劇の撮影所にタイムスリップ？ 自主製作映画で日本アカデミー賞最優秀作品賞を獲得した異色作。主演は、大河ドラマにも抜擢された山口馬木也。幕末の京都。会津藩士の高坂新左衛門は家老から長州藩士を討つよう密命を受けるが、標的の男と刃を交えた瞬間、落雷によって気を失ってしまう。目を覚ますと、そこは現代の時代劇撮影所だった。新左衛門は行く先々で騒動を起こしながら、江戸幕府が140年前に滅んだことを知り、がく然とする。一度は死を覚悟する新左衛門だったが、心優しい人たちに助けられ、生きる気力を取り戻していく。やがて彼は磨き上げた剣の腕だけを頼りに撮影所の門を叩き、斬られ役として生きていくことを決意する。

第48回 日本アカデミー賞受賞作

侍タイムスリッパー

©2024 未来映画社

出演:山口馬木也、冨家ノリマサ、沙倉ゆうの 他

2024年（131分）日本語音声/字幕なし

4/11（土）
高山市民文化会館 小ホール
①午前10時～②午後2時～（開場各回30分前）
全席自由 **500円**
ワンコインシネマ1回券（当日同額）
プレイガイド 高山市民文化会館
https://takayama-bunka.org/20260411onecoin/

チケット発売日：4月7日（火）

山中千尋
トリオ・スペシャルライブ

3度目の来高となる山中千尋のスペシャルライブ。
ベースに畠山令、ドラムに倉田大輔を迎え、ジャズの熱いサウンドをお届けします。

桃源郷 JAZZ 2026

5/23（土）
久々野公民館ホール
開場:午後5時30分／開演:午後6時

チケット料金（税込） 全席指定
〔一般〕……3,000円
〔メセナメイト会員〕……2,500円
〔ジュニア（18才以下）〕……500円
※未就学児入場不可

チケット発売日
4月4日（土） 午前10時より一斉発売

プレイガイド
高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
久々野公民館 tel.0577-52-3112
チケットぴあ〈Pコード 322-506〉
WEB受付（特設ページより）
https://takayama-bunka.org/20260523kuguno/

協力 高山JAZZ倶楽部

/ 山中千尋プロフィール /

ピアニスト、作編曲家。
ニューヨークを拠点に世界で活躍する、日本が誇る女性ジャズ・ピアニスト山中千尋。リリースされたアルバムは、すべて国内のあらゆるJAZZチャートで1位を獲得。米メジャー・レーベルのデッカ・レコードとも契約を果たし、全米デビューも飾った、ダイナミズムと超絶技巧、ジャズの伝統と斬新なアレンジを併せ持つ、今まさに活動の絶頂期を迎えているピアニスト。

高山の文化を高めた人々 88

「山を愛し、人を愛した山岳写真家」 小池 潜

島田 靖
（小池氏の親友 / 登山家）

撮影中の小池潜さん（2000年頃）

飛騨山脈（北アルプス）の交差点に位置する「双六小屋」は、登山者にとって極めて重要な存在である。小屋から1時間ほどの双六岳の山頂からは、指呼の距離に、鷲羽岳、水晶岳、黒部五郎岳をはじめ、槍・穂高、笠ヶ岳、乗鞍岳、白山などの名だたる百名山が一望できる。

その双六小屋を旗艦として、「わさび平小屋」「鏡平山荘」「黒部五郎小舎」を切り盛りしていた小池潜さんは、山岳写真家としてもよく知られている。樅沢岳から望む北鎌尾根を従えた槍ヶ岳の写真は、小池さんの写真が基となった定番の構図として定着している。

写真家としては、雑誌やカレンダー等に出品した後、日本の名峰シリーズ「雲ノ平・笠・裏銀座」を昭和六十年に初出版した。その後、「山の彩り」を出版した際には、高山グリーンホテルで盛大に出版記念会を催した。

この他に「黒部源流」「奥飛騨」そして大作「愛しき山稜」の計五冊の写真集をいずれも山と渓谷社から出版した。「愛しき山稜」出版の際は、東京・銀座で個展を開き、全国から多くの来場者があったと聞いている。

小池さんが撮影した作品の一部は、現在、平湯にある奥飛騨ビジターセンターに展示されている。

＊

双六小屋には、写真家や画家など多くの文化人が訪れた。小池さんが特に憧れを抱いていた田淵行男さんとは、撮影に同行したり、アドバイスを受けたりしている。また、日本画のような美しい写真で有名な前田真三さんからは、景色を見る目を教えてもらったと語っていた。

樅沢岳から望む北鎌尾根と槍ヶ岳

その他にも、白旗史朗さんや三宅修さんら多くの著名な写真家とも交流を深めた。作家の新田次郎さんと黒部の怪談について夜中まで話し込んだところ、さっそく「風が死んだ山」という短編にまとめられたのはさすがだと話していた。また、「花の百名山」の著者である田中澄江さんは双六の大ファンで、双六小屋入口の看板は、田中さんの揮筆である。

＊

小池さんは、旧上宝村吉野の小池家の次男として生まれ、大学を卒業すると同時に父・義清さんの経営する山小屋に入った。義清さんは村会議員を務めた人で、アララギ派の歌人でもあり、知性に富んだ人物であった。かつて双六小屋へは金木戸川を遡っていくしか道は無く、遠く不便なところだったが、義清さんは新穂高から左俣谷を通る道を自ら開拓し、「小池新道」と名付けられた。

昭和四十年、鏡平の神秘的な風景に惚れ込んで小屋を作り、昭和六十三年には西糸屋より黒部五郎小舎を譲り受け、合わせて四つの小屋を経営するに至った。これらの小屋をもっと多くの人に楽しんでもらおうと、小野木三郎さんたちと企画し、「双六山楽共和国」を立ち上げたことは、私自身にとっても楽しい思い出である。

小池さんは、スキーの指導者でもあったが、ゴルフも大好きで、山仲間とプレーすることを楽しみにしていた。

現在、四つの山小屋は、長男・岳彦氏が父の遺志を継いで、三代目として経営している。どの小屋も工夫を凝らし、近代化を図ってきれいで快適であり、食事が美味しいと評判で、全国から多くの登山者が訪れている。

多くの登山者で賑わう双六小屋

小池潜さんは、登山者をいつも温かく出迎え、山をこよなく愛し、人を愛し、そして誰からも愛された山岳写真家であった。

（令和五年十一月二十九日没）

第50回 飛騨文芸祭作品募集

令和八年度飛騨文芸祭の作品を募集します。奮ってご応募ください。

一、応募資格、部門

飛騨地域に在住・在勤・出身者（出身地名を明記）。一般の部と青少年の部があります。

二、対象作品

①小説 ②戯曲（脚本）③児童文学 各々一篇、原稿用紙百枚以内

④随筆（エッセイ）一篇、原稿用紙二十枚以内

⑤評論 一篇、原稿用紙五十枚以内

⑥現代詩 一篇

⑦短歌 五首

⑧俳句 五句

※原稿用紙は四百字詰め原稿用紙での枚数です。

※⑦、⑧は規定の首数、句数を一作品とし、過不足は審査対象外です。また、青少年の部では三首（句）とします。

※①～⑧の部門毎に一作品のみ応募可。部門が異なれば複数作品も可。

※未発表作品に限ります。

三、応募料

一作品につき千円。

※青少年の部は無料です。

お申し込みの際は、領収書の写しを添付してください。（コピー・スキャン可）

四、応募方法

八月十五日までに、郵送（当日消印有効）・FAX・WEB又は文化会館窓口へ提出。WEB応募（下記QRコードより）。その他詳細については、お問い合わせください。

道伝えの日 道伝え茶会・新春飾り物秀作展 4.25(土)・26(日)

文化協会では、とかく難しいものと思われがちな茶道を、気軽に楽しんでいただくことを目的として、毎年四月にお茶会を開催しています。ぜひご来場ください。

併せて一月に開催した「新春飾り物展」の入賞作品を展示します。

◇**会場** 高山市文化伝承館神明町四丁目「正雲寺坂」を上る。又は、城山照蓮寺西側の階段を下る。

※伝承館駐車場は台数に限りがありますので、照蓮寺横駐車場又は城山公園駐車場をご利用ください。

[道伝え茶会]

○**日程**

・四月二十五日（土）

煎茶席 松風流

・四月二十六日（日）

抹茶席 裏千家

○**時間** 午前十時～午後四時（午後三時までに入席）

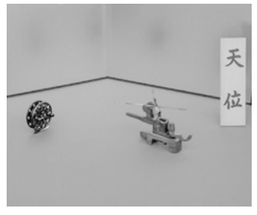
○**料金** 呈茶券 五百円（当日券あり）。市内茶舗及び文化会館、伝承館にて発売中。

[新春飾り物秀作展]

干支「午」と歌会始お題「明」

○**時間** 午前十時～午後四時

○**入場無料**



新春飾り物展
干支「午」天位「流鏑馬」

「風目一目」

神様も外出なさる時がある。他の神様のお招きでは、行列して訪問なさる。お旅所なんてのもある。

町内の神社係が屋押しで回ってきて、私も袴を着て行列した。お昼の食事があって、他の神社の人も一緒だった。

神様の乗る神輿も色々あるが、一番小さいのは二人で担いで歩く木の小箱のがある。食事が終わって皆が行列に戻った時、この木の箱が一つ忘れられて残っていた。

食事の時の御神酒のせいだろうが、箱の中の神様も驚いたことだろう。旗を間違えて、他の神社の旗が持ち去られたこともあったと言う。

飛騨の神様はそんなことでは怒らない。笑って「こりゃどうじゃい」なんて言って「宅急便で送り返せ。着払いでもええぞ」なんて言ったかもしれない。

また春の祭りの季節になった。桜はどうか。祭りの料理や酒は、神様と一緒に共に楽しくいただくもの。再来年は山王さまの大祭がある。

（ガンモンモ筆）

たかやま菊花会 初心者講座のお知らせ

日本の花「菊」を育ててみませんか？

五月から三週間に一度、櫻山八幡宮境内において、たかやま菊花会会員による初心者講座を開催します。

苗や土などはご用意します。植える鉢のみご用意ください。（大菊は八～九号鉢、小菊は盆栽鉢）

昨年の菊花展

春から育てて、秋には大輪の菊や盆栽仕立ての小菊を楽しむことができます。また、十月末から開催する菊花展にも出品いただけます。

[募集内容]

◇**〆切** 四月三十日（木）

◇**部門** 大菊（盆養菊、ドーム菊）、小菊（盆栽菊、懸崖菊）

◇**参加費** 一部門二千円

◇**講座予定** 五月十三日（水）から三週間に一度、午後一時半より（八回）

◇**申し込み** WEB又は文化協会事務局までご連絡ください。

令和8年度 一般社団法人 高山市文化協会事業計画

月 日	事 業 名	内 容
毎月開催	理事会・評議員会	
随時開催	三役会	
随時開催	広報・芸能・美術・伝統文化・企画等	各事業担当委員会随時打合わせ
随 時	後援	各種文化行事に関する後援
随 時	市長と語る会	
随 時	国内・国外他都市との文化団体の交流	
通 年	高山市文化協会組織強化	高山市文化協会・メセナメイト会員随時募集
通 年	高山市民文化会館、高山市文化伝承館、高山市松本家住宅、高山市宮地家住宅	指定管理業務
通 年	ホームページ	高山市民文化会館・文化協会事業案内等
通 年	自然環境保護事業	自然保護事業の取り組みについて
通 年	初心者入門講座	初心者入門講座の開設継続
通 年	広報発行	月1回程度発行　事業案内・作品募集・事業報告・団体会員の紹介等
通 年	私のあしながおじさん事業	子どもの貧困対策の推進に関する法律に定める基本理念の推進
通 年	高山駅西地区複合・多機能施設検討協議	特別委員会による調査研究　市民啓発・募金活動
随 時	「道伝えの日」事業　各施設	3月雛様展示、5月五月人形展示
4月11日	ワンコインシネマ「侍タイムスリッパー」	市民文化芸術鑑賞事業　文化会館小ホール
4月25日～26日	道伝え茶会・新春飾り物秀作展	道伝えの日　文化伝承館
5月9日	ワンコインシネマ「ゴッドマザー コシノアヤコの生涯」	市民文化芸術鑑賞事業　文化会館小ホール
5月23日	桃源郷JAZZ2026 山中千尋 トリオ・スペシャルライブ	市民文化芸術鑑賞事業　久々野公民館
5月下旬	令和8年定時社員総会	令和7年度決算総会　文化会館
6月7日	第25回市民歴史散歩	丹生川 飛騨千光寺
6月27日～28日	高山文化芸能祭2026	高山市民文化会館　芸能・展示
7月11日	ワンコインシネマ「教皇選挙」	市民文化芸術鑑賞事業　文化会館小ホール
7月25日～26日	飛騨洋舞家協会 岩田守弘トーク&ワークショップ	支援事業　文化会館大ホール
7月26日	にゅうかわ寄席2026 ～昭和歌謡と怪談の夏～	市民文化芸術鑑賞事業　丹生川文化ホール
8月16日	文学碑掃苔	文学散歩道整備・清掃
8月22日	アクロバットダンスサーカス G-Rockts公演	市民文化芸術鑑賞事業　文化会館大ホール
8月29日	ワンコインシネマ「おしりたんていスター・アンド・ムーン」	市民文化芸術鑑賞事業　文化会館小ホール
9月6日	トム・プロジェクトプロデュース 演劇「沼の中の淑女たち」	市民文化芸術鑑賞事業　文化会館小ホール
9月19日	ワンコインシネマ「てっぺんの向こうにあなたがいる」	市民文化芸術鑑賞事業　文化会館小ホール
10月3日	お月見短歌会	道伝えの日　文化伝承館
10月予定	小学校芸術鑑賞事業（音楽）	各小学校
10月29日～11月3日	たかやま菊花展	支援事業　櫻山八幡宮、文化会館
10月31日～11月3日	高山市制90周年記念飾り物展	文化会館　4F和室
11月9日	小学校芸術鑑賞事業（演劇）	文化会館大ホール（大蔵流　狂言を6年生観劇）
11月9日	大蔵流狂言の会	市民文化芸術鑑賞事業　文化会館大ホール
11月14日	芭蕉忌句会	道伝えの日　文化伝承館
11月15日	国府さくら寄席2026　神田伯山独演会	市民文化芸術鑑賞事業　国府さくらホール
11月18日	メセナメイト会員ツアー「オペラ座の怪人」	MTG名古屋四季劇場
11月23日	ワンコインシネマ「父と僕の終わらない歌」	市民文化芸術鑑賞事業　文化会館小ホール
12月	『飛騨文藝』発行	第50回飛騨文芸祭入賞作品集発行
令和9年1月1日	新年市民互礼会、文化功労者顕彰、飛騨文芸祭入賞者表彰	ひだホテルプラザ
1月15日～17日	飾り物展	市民文化芸術鑑賞事業　文化会館3階講堂
3月予定	飛騨洋舞家協会合同発表会	支援事業　文化会館大ホール
3月	令和9年 定時社員総会	令和9年度予算総会　櫻山八幡宮参集殿
未定	劇場・音楽堂等と芸術団体との連携による地域活動基盤形成支援事業	文化庁補助事業（OEK主体）
未定	飛騨春慶弦楽器演奏会	年5日程度　市内各会場
未定	子ども夢創造事業（文化芸術）	子ども達に文化芸術に触れる機会の創出
未定	会員研修旅行	先進地・施設研修

※この他にもいくつかの事業を予定しています。日程は変更する場合がありますので、ご了承ください。